

# GIS NEWS LETTER

地理情報システム学会ニュースレター

第77号

発行日 ● 2011年3月30日  
発行 ● 地理情報システム学会事務局

## 目次

会長ご挨拶	1p
2011年度 GISA学会賞募集	2p
学会からのお知らせ	2p
支部報告	2p

分科会報告	3p
学会後援行事等のお知らせ	3p
事務局からのお知らせ	3p
お詫びと訂正	3p

## 東日本巨大地震 被災地の方々に、心よりお見舞い申し上げます

地理情報システム学会会長 吉川 真

東日本巨大地震に被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。また、今も懸命に救出と復旧に務められている皆様、本当にご苦労さまです。

3月11日（金）以降に発生した地震や津波などによる被害の甚大さについては、ここで繰り返すまでもありません。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、甚大な被害に遭われました皆さまとそのご家族の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。また、皆様の安全と一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。当学会は、地理空間情報に関するさまざまな立場から、被災地の復旧・復興のために最大限の支援をさせていただく所存です。会員諸氏におかれましても、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年5月に柴崎亮介先生から会長を引継いで、10ヶ月余り経ちました。大過なく新年度を迎えるというわけには行かなくなりましたが、会長に就任して以来、理事・監事をはじめ、各種委員会委員（長）の方々に支えられて務めてまいりました。深く感謝申し上げます。とくに、副会長の浅見泰司先生と事務局長の寺木彰浩先生には、大変ご面倒をお掛けいたしています。この1年は本務先の大学でも忙しい役目に就いていましたので、浅見先生には何度も会長代理を務めていただきました。また寺木先生には、新任の理事であるにもかかわらず、しっかりと本部事務局を束ねていただいています。

昨年は9月19日～21日の3日間、パシフィコ横浜でG空間EXPOが開かれ、学会はブース展示とシンポジウムで参加いたしました。展示企画では柴崎先生、シンポジウム企画では浅見先生と太田守重氏をはじめ多数の方々にご苦労いただきました。また、学術研究発表大会が10月23、24日の2日間、矢野桂司先生を大会本部長に京都の立命館大学衣笠キャンパスで開催されました。盛り沢山の企画が学会の大会に

併催され、参加者も多数を極めました。これも大会本部をお引き受けいただいた矢野・中谷両先生をはじめ立命館大学の皆様のご尽力の賜物と感謝いたします。

これらの催しは大変多くの参加者を集めましたが、会員増にはどうも直接的には繋がってはいないようです。したがって、学会の財務状況は厳しいままにあるということをご理解いただきたいと思います。会長就任の際にも、皆様にお願い申し上げましたが、会員資格の継続はもちろんのこと、ぜひ関係される多くの方々へ入会を働きかけていただきたいと思います。今年もG空間EXPOは、ビジネスフォーラム2011として9月14日～16日の3日間、昨年と同じパシフィコ横浜で産官学の産側が主体となる形で開催されることになっています。ご関係の会員には、EXPO参加者へ学会入会の働きかけをお願いする次第です。

一方、学術研究発表大会は、九州支部長の山崎利夫先生と鹿児島大学の平瑞樹先生に大会本部を組織いただき、鹿児島大学において10月15、16日の2日間で開催されることになっています。新潟、京都、鹿児島と地方開催が続いているが、これらも会員増だけでなく地方代議員の増強にも繋がって欲しいと願っています。また、来年は広島開催で調整が進んでおります。なお、学会は1991年11月30日に誕生しましたので、今秋は創設20周年を迎えることになります。しかし、昨今の財務状況の下で、盛大な記念行事などは全く考えられません。そこで、大会企画の一つとして、記念シンポジウムなどが開催できればと考えています。大会実行委員会と大会本部を中心に企画をまとめていただこうと思います。

また、この20年という節目は、数年にわたって懸案のまま推移してきた学会名称という課題にも決着をつけるよい機会ではないでしょうか。会員諸氏の積極的なご発言とご議論をよろしくお願い申し上げます。

今年度は、以上述べてまいりましたこれまでの活動を着実に遂行しながら、東日本巨大地震に関わる活動にも学会をあげて取り組んでまいりたいと思います。ご支援とご協力をお願いする次第です。

2011年3月16日、大阪にて

## 【2011年度 GISA 学会賞募集】

### 【学会賞委員会 委員長：大澤 裕】

2011年度地理情報システム学会賞の募集を行います。

応募資格者および提出物の内容、受賞者選考・決定方法は以下のホームページでご確認ください。なお、提出書類などの詳細が昨年度までと異なる場合がありますので、2011年6月1日時点の下記ページで確認の上ご応募ください。

<http://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。

選考結果は9月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また、受賞者は、本年10月15日（土）～16日（日）に鹿児島大学にて開催される第20回研究発表大会で表彰されます。

募集部門：

「研究奨励部門」（本年3月末日の時点で35歳以下の者）

「学術論文部門」

「ソフトウェア部門」

「教育部門」

「著作部門」

応募期限：2011年7月15日（金）

提出先： 地理情報システム学会事務局

## 【学会からのお知らせ】

### ■ 2011年度一般社団法人地理情報システム学会定期社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。

日時：2011年5月21日（土）14:30～16:00

場所：東京大学工学部14号館144教室

東京都文京区本郷7-3-1

### ■ 日本地球惑星科学連合2011年大会のご案内

地理情報システム学会の加盟する日本地球惑星科学連合の大会が、5月に開催されます。当学会が運営するセッションは以下のとおりです。

(1) GIS（英語）

(2) 地理情報システム（日本語）

他にも地理学、地図学、測量学などを対象としたGISと関連が深いセッションも開催されます。

会期：2011年5月22日（日）～27日（金）

会場：幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区中瀬2-1）

事前参加登録（当日登録より割安）：～2010年5月9日（月）

URL：<http://www.jpgu.org/meeting/index.htm>

### ■ 2011年度学術研究発表大会のご案内

2011年度地理情報システム学会研究発表大会は、10月15

日（土）、16日（日）の両日、鹿児島大学にて開催されます。発表申し込みの手続きなどの詳細は、決まり次第、メールニュースやHPでご案内いたします。

（参考：2010年度の発表申込）

アブストラクト提出：7月1日～7月16日正午必着

講演論文集用原稿提出：7月1日～8月31日正午必着

## 【支部報告】

### ■ 関西支部

### 【田中一成】

前回のニュースレターで実施予定としていました産・官・学の連携行事の報告です。

『GIS上級技術者教育講座（GIS ブラッシュアップ・セミナー）』の第1回オープニング記念講座を、2010年11月20日（土）に常翔学園・大阪センターにて開催しました。今年度から新たに開催するこの講座は、関西地区在住の7名が実行委員会となって、GIS上級技術者や取得を目指す技術者を対象に高レベルで幅広い内容のGIS教育を受ける機会創出をめざして企画してきたものです。このように受講対象者を絞っているにもかかわらず、初回から26名の参加者を得て開催するはこびとなりました。初回は、地理情報システム学会会長・関西支部長の吉川眞氏による「デジタルシティーの構築をめざして～3次元都市モデルの進化～」と、写真測量学会関西支部副支部長の吉村充則氏による「空間的思考から見えるもの・わかるもの」と題する講座開設の記念講義が行われました。GIS上級技術者はもちろん、この分野に興味のある参加者にとって、これまでのGISとその関連分野の歴史と今後の可能性を考えさせる初回にふさわしい記念講義となりました。

続いて、第2回を2011年1月29日（土）に第1回と同じ常翔学園・大阪センターにて開催しました。第1回目の広報効果から参加者は42名と増えて会場が手狭になる中で、行政のGISプロフェッショナルと題して関西の自治体で活躍するGIS上級技術者4氏による講義を行いました。豊中市の久宿喜市氏による「業務改善を考えたGPSとの連携」、門真市の一氏昭吉氏による「基盤地図情報と自治体GISの連携」、大阪市の内布茂充氏による「行政情報共有のためのGIS機能調達仕様について」、および富田林市の浅野和仁氏による「世帯、家族と家形図」です。今回も終了時刻ギリギリまでの活発な議論となり、講座終了後の懇親会でも引き続き情報交換が行われました。なお、今後は第3回を4月16日、第4回を7月16日に予定しています。皆様の「ブラッシュアップ」への積極的なご参加をお待ちしております。

2010年11月26日（金）には、今年度で第11回目を迎える恒例の『関西地域GIS自治体意見交流会』が、こちらも138名という多くの参加者を得て高槻市・高槻現代劇場文化ホールにて開催されました。日本写真測量学会関西支部とともに今年度は高槻市を共催として、「自治体GISにおける基盤地図情報の活用」と題し、地域の生活空間に密着した具体的なGIS技術についての情報交換が積極的に行われました。高槻市市長の奥本務氏の開会挨拶と吉川会長・支部長の趣旨説明に続いて、国土地理院近畿地方測量部の門脇利広氏による「基盤地図情報の整備・更新と活用」と題した基調講演を筆頭に、高槻市の原本節男氏、豊中市の小松太郎氏、宇治市の青木和人氏、大阪府立工業高等専門学校の山野高志氏による

自治体 GIS 利用の具体的な事例紹介という、合計 5 名の講師による具体的でわかりやすい講演が行われました。さらに、日本写真測量学会関西支部長の柳川重信氏の、いつもながら見事なコーディネートによるパネルディスカッションでは、近い未来に向けた具体的な GIS 技術について、会場を交えて積極的な意見交換が行われました。設定を変え同じ会場で行われた懇親会には 44 名が参加され、講演者を中心にして地理空間情報技術の具体的側面に関する意見交換などの活発な交流が行われました。

## 【分科会報告】

### ■防災GIS分科会

[畠山満則]

東北地方太平洋沖地震に関わる支援活動

防災 GIS 分科会では、過去、阪神・淡路大震災、中越地震などで自治体や地域コミュニティ活動に対して GIS を用いた震災復旧・復興支援活動を行っており、その検証から次に災害が起ったときに対する支援活動のための準備を行ってきました。今回の大震災に対しても、過去の経験を生かし、積極的に被災地の支援活動を行いたいと考えています。

この活動にご参加いただける方、支援活動の一環として、データあるいはシステムを提供していただく可能性がある方がおられましたら、下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

活動代表：畠山満則（京都大学防災研究所）

事務局担当：吉川耕司（大阪産業大学）

問い合わせ窓口：[bosai\\_gis@googlegroups.com](mailto:bosai_gis@googlegroups.com)

（畠山、吉川に転送されます）

### 活動報告

防災 GIS 分科会では、2010 年 9 月 24 - 25 日に京都大学防災研究所にて開催された「第 5 回 防災計画研究発表会」において、防災 GIS に関するセッションを組み、以下の 4 つの発表をいただきました。「携帯電話メールだけを使った災害時連絡システムの仕様と実装と活用」（吉田、リーンシステム）、「危機管理を支援する自治体向け情報システムの実現プロセスに関する考察」（畠山、京大防災研）、「我が国の災害医療のための病院データベースの構築」（東原、防災科研）、「災害時との連続性を考慮した平常時における時空間 GIS の利用促進」（浅野、秋田県立大）。詳細な内容については <http://imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp/IPwiki/index.php?forum2010> をご覧ください。第 6 回の研究発表会は 2011 年 9 月 23-24 日の日程で京都大学防災研究所にて開催されることが決まっています。発表や聴講を希望される方は、畠山（[hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp](mailto:hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp)）まで連絡いただきますようお願いいたします。

また、総合防災・災害リスク軽減に関する国際会議である IDRiM 2011 Conferences (2009 年の京都開催時には地理情報システム学会が後援) が 2011 年 7 月 14-16 日に南カリフォルニア大学で開催されます。ご興味のある方は下記のホームページをご覧ください。

[http://idrim.org/?page\\_id=22](http://idrim.org/?page_id=22)

## 【学会後援行事等のお知らせ】

### ■後援■ 第 7 回 GIS コミュニティフォーラム

主催：ESRI ジャパンユーザ会

会期：2011 年 6 月 2 日（木）～3 日（金）

会場：東京ミッドタウン

詳しくは… <http://www.esrij.com/>

## 【事務局からのお知らせ】

### ■ 2011 年度年会費納入のお願い

今号は郵便振込ご利用の会員の方々に、来年度分（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）年会費の振込専用用紙を同封しております。

納入期限は 4 月 30 日（土） ですので、お早めにお手続きください。期限に遅れますと、6 月発行のニュースレター 78 号および『GIS-理論と応用 Vol. 19-No. 1』の送付が停止されるほか、ホームページの会員専用コンテンツの閲覧が出来なくなります。

### ■ 年会費口座振替ご利用の方へのお願い

来年度分（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）年会費の 口座引き落とし日は 6 月 28 日（火） です。口座残高のご確認をお願いいたします。

年会費は正会員 7,000 円、学生会員 3,000 円です。

### ■ 変更届提出のお願い

就職、転職、所属や自宅の場所が変わった等々の場合、速やかに変更届をご提出ください。変更はオンラインで出来ます。

<http://www.gisa-japan.org/member/index.html>

（変更は HP の「入会お申込み」から、どうぞ）

学会誌がこれまで届けられていた所属（自宅）宛でなく、急に自宅（所属）宛に届いた、という場合は、宛先人不明で一度、事務局に返送されてきたものの再送です。「会費を払ったのに郵送物届かない」という事態を招く前に、是非、提出にご協力ください。

### ■ 『GIS-理論と応用』電子アーカイブ

#### 公開開始のご案内

創刊号（1993 年度）から 15 卷 2 号（2007 年度）までに掲載された論文（書評やシンポジウム報告を除く）が、独立行政法人科学技術振興機構のサイトに公開されています。

[http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/jnltop\\_ja.php?cdjournal=thagis1993](http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/jnltop_ja.php?cdjournal=thagis1993)

なお、2008 年度以降の論文につきましては、引き続き学会 HP の「デジタルライブラリ」をご利用ください。

<http://www.gisa-japan.org/dl/GISADL.html>

## 【お詫びと訂正】

No. 76 最終ページの地方支部連絡先一覧に中部支部の記載が漏れておりました。関係各位にお詫び申しあげます。

2011年2月末現在の個人会員 1370名、 賛助会員 76社

## 賛助会員

(2口) NTT情報開発(株)

(1口) アイエニウェア・ソリューションズ(株), 朝日航洋(株), アジア航測(株), いであ(株), (株)インフォマティクス, (株)ウインディーネットワーク, (株)ウチダデータ, ESRIジャパン(株), (株)NTTネオメイト, 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術(株), (株)大阪市都市工学情報センター, 大阪土地家屋調査士会, オートデスク(株), (株)オオバ, かごしまGIS・GPS技術研究所, (株)かんこう, 関東甲信越東海GIS技術研究会, (株)岐阜県建設研究センター, 九州GIS技術研究会, 協同組合くびき野地理空間情報センター, 近畿中部北陸GIS技術研究会, (株)こうそく, 幸陽測量設計(株), 國際航業(株), 國土情報開発(株), (株)古今書院, 寿精版印刷(株), GIS総合研究所, GIS総合研究所いばらき, (株)GIS関西, ジェイアール西日本コンサルタント(株), (株)JPS, (株)ジオテク/関西, (株)ジャスマソフト, (株)昭文社, (株)ジンテック, (株)数理システム, (株)ゼンリン, (株)総合システムサービス, (株)大設, (株)谷澤総合鑑定所, 玉野総合コンサルタント(株), 中四国GIS技術研究会, テクノ富貴(株), 東京ガス(株), 東武計画(株), 東北GIS技術研究会, (株)トーン, 内外エンジニアリング(株), 長野県GIS協会, にいがたGIS協議会, 日本エヌ・ユー・エス(株), 日本情報処理開発協会, 日本スーパーマップ(株), (株)日本測量調査技術協会, 日本土地家屋調査士会連合会, (株)日本地図センター, ノシフックコンサルタント(株), (株)パスコ, (株)日立製作所中央研究所, 北海道GIS技術研究会, (株)マップエスト, (株)松本コンサルタント, 三井造船システム技研(株), (株)三菱総合研究所, 三菱電機(株), ヤフー(株), (財)リモートセンシング技術センター, 自治体会員:(1口)大阪府高槻市役所, 大阪府豊中市役所, 経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

## 学会分科会連絡先一覧

- 自治体: 大場 亨 (市川市商工振興課 Tel 047-334-1341)  
E-mail: BZH06512@nifty.ne.jp
- 空間IT: 有川正俊 (東京大学空間情報科学研究センター Tel 04-7136-4291)  
E-mail: arikawa@csis.u-tokyo.ac.jp
- ビジネス: 高阪宏行 (日本大学 Tel 03-3304-2051)  
E-mail: kohsaka@chs.nihon-u.ac.jp
- 防災GIS: 畑山満則 (京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333)  
E-mail: hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
- 土地利用・地図GIS: 碓井照子 (奈良大学)  
事務局: 西端憲治 (株)セイコー Tel 0721-25-2728  
E-mail: totiriyo-sig@seicom.jp

- 時空間GIS: 吉川耕司 (大阪産業大学 Tel 072-875-3001)  
E-mail: yoshikawa@due.osaka-sandai.ac.jp
- 地図・空間表現: 森田 喬 (法政大学 Tel 0423-87-6270)  
E-mail: morita@k.hosei.ac.jp
- セキュリティSIG: 川添博史 (特定非営利活動法人GIS総合研究所)  
事務局: 国司輝夫 (特定非営利活動法人GIS総合研究所 Tel 06-6464-7077)  
E-mail: info@gissoken.org
- 自律分散アーキテクチャ: 藤田晴啓 (東洋大学 Tel 0276-82-9157)  
E-mail: fujita-hi@toyonet.toyo.ac.jp
- FOSS4G分科会: Venkatesh Raghavan (大阪市立大学)  
連絡先: 嘉山陽一 (朝日航洋(株) TEL049-244-4032)  
E-mail: youichi-kayama@aeroasahi.co.jp

## 地方支部の連絡先一覧

<北海道支部>  
支部長: 北海道大学 橋本 雄一  
Tel: 011-706-4019, E-mail: you@chiri.let.hokudai.ac.jp  
<東北支部>  
支部長: 岩手県立大学 阿部 昭博  
Tel: 019-694-2562, E-mail: abe@iwate-pu.ac.jp  
<北陸支部>  
支部長: 新潟大学 牧野 秀夫  
Tel: 025-262-6749, E-mail: makino@ie.niigata-u.ac.jp  
<中部支部>  
支部長: 名古屋大学 奥貫 圭一  
Tel: 052-789-2233, E-mail: nuki@lit.nagoya-u.ac.jp  
<関西支部>  
支部長: 大阪工業大学 吉川 真  
連絡先: 田中 一成 (大阪工業大学)  
Tel: 06-6954-4293, E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp

<中国支部>  
支部長: 広島工業大学 岩井 哲  
Tel: 082-921-5486, E-mail: s.iwai.i5@it-hiroshima.ac.jp  
<四国支部>  
支部長: 愛媛大学 堤 純  
Tel: 089-927-9305, E-mail: jtsu@ll.ehime-u.ac.jp  
<九州支部>  
支部長: 鹿児島大学 山崎 利夫  
Tel: 0994-46-5362, E-mail: yamazaki@nifs-k.ac.jp  
<沖縄支部>  
支部長: 琉球大学 宮城 隼夫  
E-mail: miyagi@ie.u-ryukyu.ac.jp  
連絡先: 有銘 政秀 ((株) ジャスマソフト)  
Tel: 098-921-1588, E-mail: arime@jasminesoft.co.jp

### ■ 編集後記 ■

本号の編集作業期間中である3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生しました。被災された地域の一日も早い復興をお祈りしております。

この未曾有の大災害により、当初発行予定の内容を急遽一部差し替えさせていただきました。また、編集作業の遅れと計画停電の影響も伴って発行日が予定より遅くなってしまったことをお詫びいたします。

(畠山満則 (京都大) )

地理情報システム学会ニュースレター

第77号 ●発行日 2011年3月30日

### ■ 発行

#### 一般社団法人 地理情報システム学会事務局

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階  
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org  
URL: <http://www.gisa-japan.org/>

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大地震）において被災されたみなさまに、心よりお見舞申し上げます。

1日も早い復旧をお祈りいたします。

なお、今号で年会費納入のお願いをしておりますが、被災地の会員のみなさまには、6月末日まで、納入日の延長をいたします。Webページ等でもご案内いたしますが、ご相談等、いつでも学会事務局にご連絡ください。